

04

顧客が感動するプラスチック製品を提供する
ベストパートナー

旭モールドینگ株式会社

TEL.03-5855-3560 FAX.03-5855-3630
URL <https://www.asahimolding.com/>代表者: 代表取締役 福田 晴通
所在地: 〒116-0012 荒川区東尾久4-7-4
資本金: 3,200万円
従業員: 15人創業年: 大正10年
業種: プラスチック製品製造業
事業内容: プラスチック製品の設計・射出成型・加工・
組立、積層成形ブロックL-cubeの製造福田 晴通
代表取締役

一歩先を行く「射出成形のパイオニア」

大正10年の当初は、小間物（頭飾品）や婦人ボタンを製造販売していたが、プラスチック産業が黎明期にあった昭和25年に米国製の射出成形機をいち早く導入して、プラスチック成形事業に進出。以来、今日まで70年近く、射出成形専業に徹し、熱可塑性樹脂製品のパイオニアの道を歩む。

プラスチック産業が成長した昭和時代には、東京都足立区と茨城県猿島郡に生産拠点を設け、顧客の多様な仕様に応える独自の製品づくりの体制を整えてユーザーを獲得し、業容を拡大した。

顧客ニーズに対応する一貫製造サービス

平成14年に現・代表取締役の福田晴通氏が3代目として経営を引き継ぎ、厳しい業界環境の中、射出成形専業として「21世紀型の顧客トレンドに対応した経営」を宣言。グローバル化と提案型ビジネスを追求を目指して経営革新を本格的に推進し始める。

平成21年には、成形から組立てまでの一貫生産体制を確立するため、足立工場を茨城工場に吸収。その他にも、クリーンルームでの精密部品の組み立てのほか、先行して3DCADを導入し、企画・開発支援ネットワークを整備するなど顧客ニーズに対応する体制を確立した。現在では、3Dを利用した開発・設計 試作品制作 金型製作 射出成形（量産）

2次加工 検査 出荷という一貫製造サービスを強みに、精密測定器、医療機器、自動車、アミューズメント関連などで顧客を広げている。

業界待望の「樹脂製肉厚板」に脚光

平成24年にMACCプロジェクトに参画し、関連する大学や企業などとの連携を図るとともに、射出成形技術の高度化、顧客ニーズへの対応を強化する提案型ビジネスを加速している。

その取り組みの中で、業界が待ち望んでいた画期的製品『積層成形ブロック』を開発した。本製品は、「金型製造前に試作できる厚い板はないか」というニーズに対して、量産予定の樹脂材料を使い、3～4mm程度の厚みの板を積層状に積み上げ、それを射出中の圧力で密着させて1枚の厚板をつくることに成功。平成25年度「ものづくり事業」に採択され、平成27年には東京都の経営革新計画の承認を受け、プラスチック業界からは「救世主となる素材」と注目を集めている。開発当初より、順次、異なる樹脂材のバリエーション化を進めており、

プラスチック製品業界の期待に応えながら、自社の成長力を高めていく方針。

本製品は、同社初の自社開発製品として平成29年12月に製造方法・装置の特許を取得し、平成31年2月には商標を登録した。また、平成30年に第4回荒川区新製品・新技術大賞で最優秀賞を受賞した。

射出成形のエキスパート集団として顧客の
付加価値を創造する提案型ビジネスを展開

プラスチック製品の射出成形では業界のリーディング企業の位置にある。グローバルな視点で、中小企業の枠を越えた先進的な事業体制を整え、「顧客トレンドの分析を瞬時かつ確実に行う経営」を実践。射出成形のエキスパート集団として、常に技術革新にチャレンジし、徹底した提案型ビジネスを追求して、顧客の付加価値創造に貢献する。

主な保有設備

射出成形機（11台）、スカラ型ロボット、3D-CAD、横走行取出口ロボット、画像寸法測定機、シルク印刷機、クリーンルーム、アニールボックス、検査設備

主な認証・実績等

- ・「第4回荒川区新製品・新技術大賞」最優秀賞受賞
- ・特許：樹脂成形品の製造方法及び樹脂成形品の製造装置（第6259505号）
- ・商標：「積層成形ブロック L-cube」（第6121722号）